



「自信をもって優しくする」

国神小6年

黒澤 守さん



みなさん、人にきびしくしたことはありませんか。ぼくは人にきびしくすることも大事だと思いますが、きびしくしすぎるのはだめだと思いません。これから自分に自信を持ち、人に優しくする大切さについて書きたいと思います。これは、実際に体験したことです。ぼくは今年6年生です。だから一年生のめんどうを見

てあげなくてはいけないと思つています。ですが、ぼくには自信がありませんでした。ぼくには弟がいらないので小さな一年生にどうしてあげればいいのかわからなかったのです。

入学式の次の日のことです。何をしたいかわからなかったけれど、ぼくは一年生の教室に行ってみました。すると、一年生が朝のしたくを大変そうにしているのが見えました。ぼくは思いついてそのお手伝いをしてみました。一年生がランドセルをおろすの手伝ってあげたり、連絡帳を出すの手伝ってあげたりしました。そのお手伝いを毎日続けました。すると一年生とだんだん仲が良くなり、今ではいっしょに仲良くしたり、遊んだりできるようになりました。お手伝いをしてあげることでも一年生と仲良くなれたと思えました。勇気を出して声をかけてあげてよかったなとつくづく思いました。ぼくは、この体験をして気付いたことがあります。それは、人に優しくすることで、友達が増えたり、いいことがあるということ。ぼくは、人にただきびしくしたり、悪口を言ったりしないで、自分に自信を持ち、人に優しくできる人になりたいと思います。また、その人のためになることについては、時にはきびしく接することも大切だと思います。

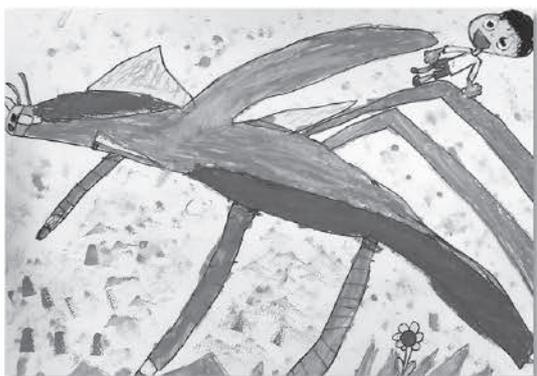
今年小学校生活最後の一年です。相手を思いやる気持

ちを忘れずに、これからも六年生らしく下級生に温かくきびしくできる六年生としてがんばっていきます。
(評)一年生との交流を通じて自分に自信をもって相手に優しくすることの大切さに気づいたことがとてもわかりやすく書かれています。

「だいじゃんぷ」

皆野小1年

松田 有生さん



(評) 紙いっぱい大きく、バツタがジャンプしているところが書きましたね。

皆野小5年

大澤 理世さん



(評) 始筆を意識したり、全体のバランスを考え、字の大きさを変えたりしているのが、まともな作品に仕上げる事ができました。

三沢小3年

小河 楽翔さん



(評) 「おれ」と「はね」の筆使いに気をつけて書きました。

「キャットと驚くキャットタワー」

皆野中2年

福嶋 柁一郎さん



(本人のコメント) 室内飼いの猫のためのタワーです。楽しく運動不足を解消できます。